

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月23日更新

事務事業名		安全運転管理者等協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	本田 千晴
	施策の柱	10	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10040	根拠法令	道路交通法		成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	大津地区安全運転管理者等協議会の会員として、大津地区安管協との連絡を密にして、職場における安全運転管理体制の育成強化と交通事故等の撲滅を図る。道路交通法で定める安全運転管理者の選任に基づき、この協議会が発足した。合志支部連合会では、中学生への反射タスキの配布、各事業所へののぼり旗の配布等を行なっている。
【業務の流れ】	安管協が行う交通安全活動の推進及び交通安全意識の普及、安全思想の高揚を図るための事業の支援を行う。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金・旅費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	・安管協議会の実施する各種イベントの事務及び会計処理を行い、合志市内4支部47事業所の交通事故防止に努めた。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) H27年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 安管主催事業への参加回数	予算の主な増減の理由 西合志庁舎の副安全運転管理者1名増加により、協議会への負担金及び講習受講料が増加。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	大津地区安全運転管理者等協議会及び支部連合会職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 事業所 ア: 加入事業者数(市内)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全運転への意識を高め、事故違反を起こさない 公用車の交通事故をなくす	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア: 新しく加入した事業所数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回	10	9	15	0	15	0	0	0	
② 対象指標	ア	事業所	70	70	77	65	66	67	78	0	
③ 成果指標	ア	件	0	0	1	0	1	0	0	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
			一般財源	千円	69	83	86	87	98	86	86
		(A) 事業費計	千円	69	83	86	87	98	86	86	0
		(A)のうち指定経費	千円	50	50	50	52	55	50	50	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	0	2	0	2	2	0	0
	延べ業務時間	時間	125	0	50	0	50	50	0	0	
	(B) 人件費計	千円	498	0	199	0	199	199	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	567	83	285	87	297	285	86	0	

事務事業名	安全運転管理者等協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 <b>【前年度内容】新規加入促進が不足していたため、新規加入がなかった。</b>
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 <b>大津地区安管協議会及び支部内での緊密な連携を図り、より積極的な事業実施と協議会加入の促進、啓発を行うことで、目標達成に繋がる。</b>
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 <b>啓発、加入促進を行うことで、加入事業所を増やすことができる。</b>
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <b>類似事業はない。</b>
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <b>協議会運営に必要な最低限の費用であるため削減の余地はない</b>
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <b>事業運営に必要な事務のみであるため削減余地はない。</b>
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 <b>市内事業所を対象とした交通安全の推進を図るための支援事業であり、公平である。</b>
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 <b>事業所の交通安全については官公庁が率先して取り組む必要があるため。</b>

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

**【前年度内容】** 今後より協議会への加入促進につとめ、市内事業所及び庁内の交通安全意識の高揚も図っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)  <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						